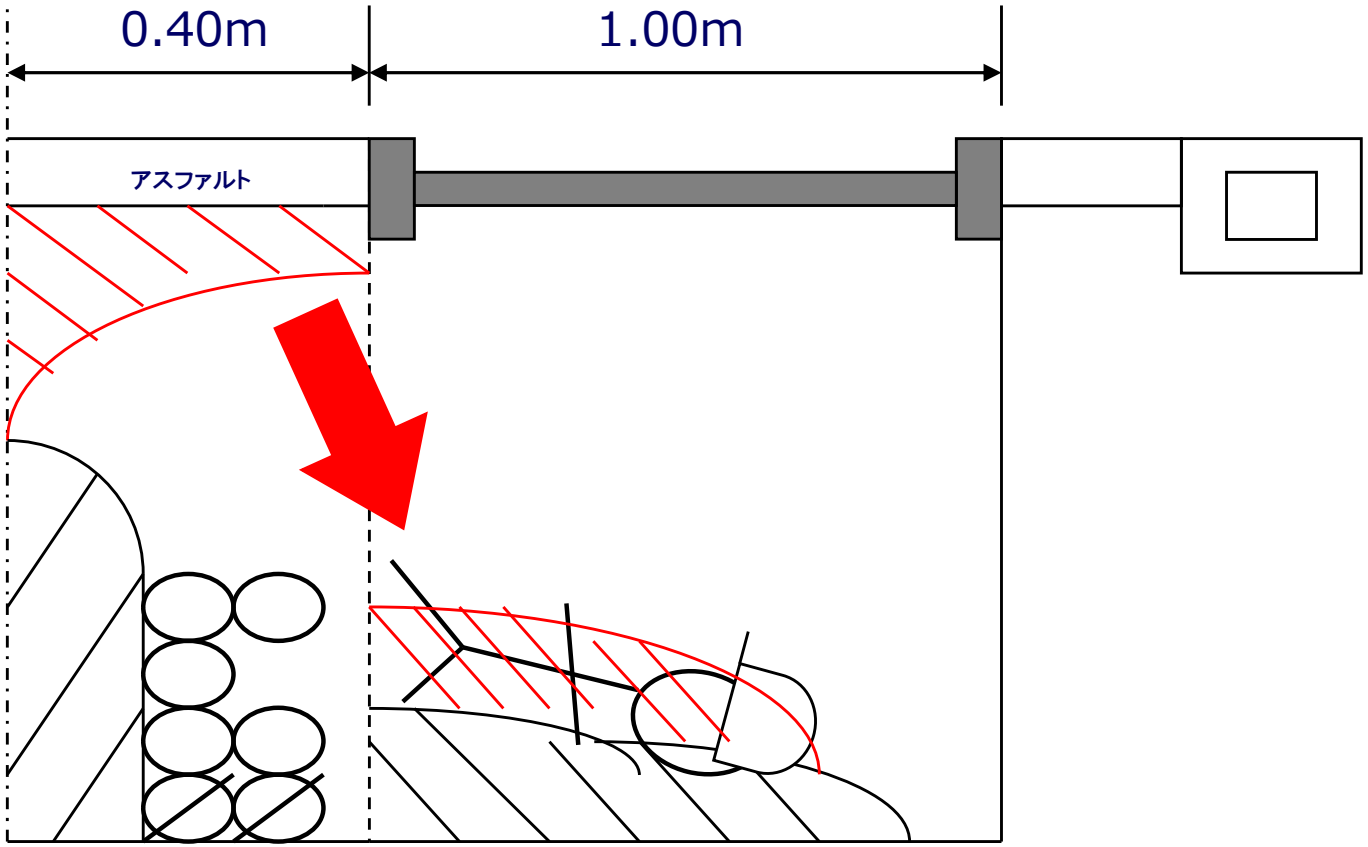
「ＮＴＴグループで発生した人身事故事例」　＜７月：土砂埋没＞

事故概要

詳しい発生状況がわかる動画は【viaPlatz】でみられます。
https://nttgroup-anzenarchive.viaplatz.com/vpz/main/login/　C-06_土砂埋没【東日本】

地下管路撤去に伴う掘削作業で、撤去管路確認のため深掘りを実施したが、既設掘山が一部崩壊したため、埋め戻し作業で作業者が入溝した際、土砂が崩落し負傷した。

事故概要図



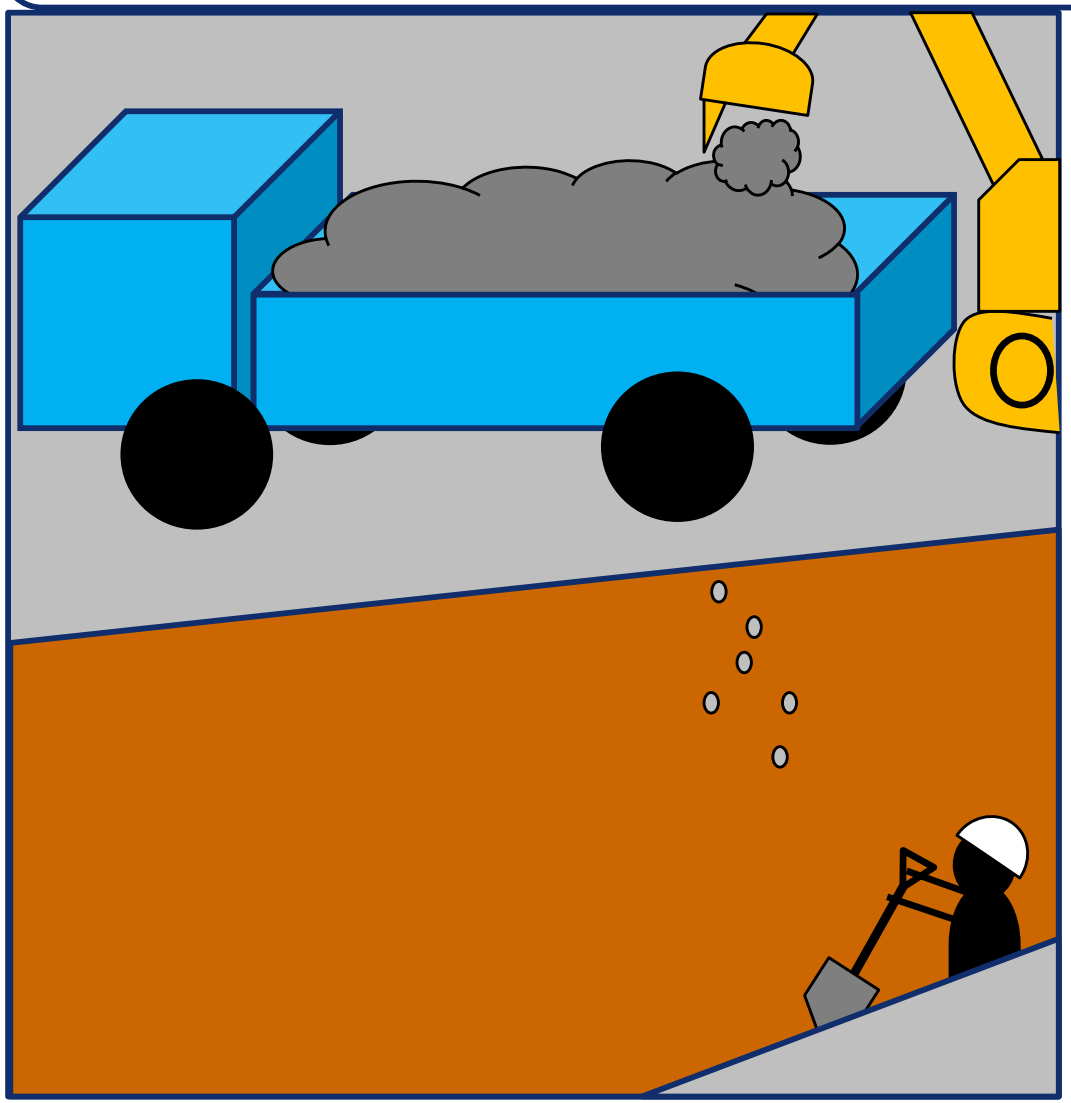
NTT東日本iSeeﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ各種資料より

安全の日＜ＫＹＴ＞

＜７月：土砂埋没＞

※要因の洗い出しは、当月の事故の型にとらわれず実施願います

地下管路撤去作業：天候雨
掘削作業中。土留めを実施せずに掘削土砂をダンプに積載している。掘削部では１名の作業員がスコップを持ち作業している。



＜ＫＹＴの進め方＞

■危険要因と原因
「～なので～して～になる」
最低ひとり1つ以上発言

■絞込み（危険のポイント）
上記の中から1つに絞込み
「～なので～して～になる　ヨシ！」
（リーダに続き全員唱和）

■重点実施項目
チーム行動目標の設定
「～する時は～を～して～しよう　ヨシ！」
（リーダに続き全員唱和）

■ワンポイント指差呼称
「～しようヨシ！」（3回）
「ゼロ災でいこう　ヨシ！」

NTT東日本iSeeﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ各種資料より

必ず知っておくべきこと

□掘削作業において、土砂崩落が発生すると少しの土砂(約1.7ｔ/㎥ある)でも作業者が圧迫され、最悪死に至る可能性がある。
□必ず作業実施前に現場環境に応じた適切な土留めを実施すること。
□掘削深度が1.0m以上の場合には土留が必要となる。
□万が一、施工時等に土留めのない掘削溝があった場合は、絶対に入溝せずに周囲のメンバに知らせるとともに、責任者へ連絡し対処を依頼すること。

NTT東日本iSeeﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ各種資料より

９つの事故再発防止ルール
（死亡事故防止に向け、再徹底すべきルール）

2015年2月9日第5回人身事故等撲滅委員会　資料抜粋

修正：2019年12月1日（安全帯を墜落制止用器具へ）

NTT ファシリティーズ / NTT アノードエナジー

★赤字は特にF社の作業に関係するルール

No	事故概要	再発防止ルール	事故の型		ＫＹ実施月
1	ワンボックス車内で発電機を使用した状態のまま、運転席で休憩していた作業員が、一酸化炭素中毒により死亡した。	**・車内、室内では、発電機等の排気ガスを発生させる機器を使用しない**	一酸化炭素中毒		1月
2	高圧送電線近傍のクレーン作業中に、吊荷やクレーンが電力線に接触（接近）し、作業員が感電した。	・電力線の近傍作業時は、電力線所有会社と事前の安全打合せを実施する ・電圧に応じた安全な離隔を確保して作業する	感電		5月
3	柱上作業中、体勢を変えるため昇降用転落防止器具を外した際、誤った箇所にかけていた本ロープが外れ墜落した。	・U字吊り用胴ベルトに標準装備品以外の備品（カラビナ）を装着しない **・フックをかける際には目視確認と指差呼称を行う**	墜落転落	①カラビナ類	4月
4	引込み線撤去工事で、つり線に梯子をかけて中間分岐で作業中、引込み線を切断したところ、はずみで梯子から墜落した。	・張力の内側に入って作業しない ・撤去作業は張力をゼロにして作業する		②張力内作業	2月
5	建物新築工事において、解体された足場材搬出のためのクレーン玉掛け中に地上へ墜落した。墜落制止用器具（安全帯）は装着していたが、無支持状態だった。	**・高所作業では墜落制止用器具（旧安全帯）を使用する** ・昇降移動時は１点支持、作業時は２点以上の支持をする **・フックを掛け替える際には無支持状態にしない** **今月の取組み**		③建物/鉄塔/PF(ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ)	11月(類似)6月8月
6	地下管路撤去に伴う掘削作業で、土留めを実施せず作業を行っていた所、土砂が崩落し作業員が埋没した。	・掘削作業では、現場環境に応じた適切な土留めを実施する ・土留めのない掘削溝に入溝しない	土砂埋没		7月
7	ユニック付きトラックへの電柱積載作業中に荷崩れを起こし、作業員が巻き込まれた。	・重機を用いた作業時には立入禁止区域を設ける ・立入禁止区域でやむを得ず作業する場合は誘導者を配置し合図を定めて、その指示に従う **・荷揚げ時には、吊り荷の真下および近くに入らない**	飛来･落下		3月
8	ＭＨで水を排出作業中、軽自動車が飛び込み、ＭＨ後方に停車していた軽トラックに衝突、作業者は軽トラックと前方に停車していたポンプ車の間に挟まれた。	・路上作業では、保安施設を設置し、防護対策を講じる ・交通誘導員は、路肩又は歩道上で交通誘導を行う ・道路横断作業時は、道路環境に応じて必要な交通誘導員を配置し、道路封鎖を確実に実施する ・体制（人員）が整わない場合は、事務所等へ連絡、支援要請し体制を整えてから作業する	飛び込まれ		12月
9	バケット車を坂道に前上がりで駐車しアウトリガーを出そうとしたところ、バケット車がバックして電柱との間に挟まれた。	・高所作業車は７度を超える傾斜地では使用しない ・傾斜地で使用する際は前下がりに駐車し、駐車ブレーキを確実に実施するとともに輪留めは全輪坂下に設置する ・アウトリガー張出し時は前方、後方の順で実施する（格納時は後方、前方の順）	逸走		10月(類似)9月